

当公園が世界の南限地!

茨城県レッドデータブック絶滅危惧種指定の貴重な植物

森の妖精 “オオウメガサソウ”

特別公開ガイドツアー開催 6月11日(土)～21日(火)



『昨年のガイドツアーの様子』2010年6月13日撮影

国営ひたち海浜公園の「ひたちなか自然の森」では茨城県の絶滅危惧種に指定されている“オオウメガサソウ”が、間もなく開花を迎えます。茨城県では、当公園と東海村の一部で生育が確認されているのみで、その他国内では青森県と北海道の一部でしか確認されていない貴重な植物です。また、世界的にも当公園が生育域の南限となっています。

オオウメガサソウは、高さ10cmほどの小さな姿で、直径1cmの梅に似た可憐な花を咲かせます。自生地である「ひたちなか自然の森・植物保護区」は、通常一般の方の立ち入りを禁止しているエリアですが、開花時期にあわせて**6月11日(土)～21日(火)**(休園日の13日、20日を除く)の間、特別公開し、ガイドツアーを開催します。絶滅を危惧される植物の保護の観点からも、多くの方にこの希少な花の魅力をお伝えしていきます。皆様のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

開 花
6月中旬～下旬

オオウメガサソウ

イチヤクソウ科ウメガサソウ属
草状小低木

■オオウメガサソウとは

北半球の冷温帯から亜寒帯を中心に分布し、日本では、北海道、青森県と国営ひたち海浜公園など、ごく限られた場所に自生しています。

主に、日当たりの良いアカマツ林の林床の貧栄養な砂質土壤に地下茎を伸ばして生育し、高さ10cmほどの茎の先に、直径1cmの淡いピンク色の花を咲かせます。

環境省レッドデータブックでは準絶滅危惧種、茨城県レッドデータブックでは絶滅危惧種に指定されている植物であり、国営ひたち海浜公園が世界の南限地となっています。

■名前の由来

梅の花に似た花を咲かせるため「ウメガサ」の名がつき、よく似た「ウメガサソウ」より大きいことから「オオウメガサソウ」と名付けられました。例年6月から7月の梅雨の時期に花が咲きますが、ひとつの個体が花をつけるようになるまでには5～7年かかると言われています。

■その他、ひたちなか自然の森で開花する花々



イチヤクソウ



ウメガサソウ



ミヤマウズラ



森の妖精 “オオウメガサソウ” 特別公開ガイドツアー

ひたちなか自然の森植物保護区を開放し、茨城県の絶滅危惧種に指定される貴重な植物「オオウメガサソウ」を特別にご案内します。

■目的：野生植物の保護・育成のため、通常は来園者の立ち入りを禁止している「ひたちなか自然の森植物保護区」では、オオウメガサソウをはじめ、ウメガサソウ、イチヤクソウ等の稀少植物がまもなく開花期を迎えます。開花に合わせて、このエリアの貴重な自然環境をより多くの方々に観ていただき、自然への関心を深めていただくことを目的として、期間限定で植物保護区を特別開放し、ガイドツアーを実施します。

■期間：平成23年6月11日(土)～6月21日(火)
※但し、休園日の6月13日(月)・20日(月)を除く

■時間：
①10:00～ ②10:50～ ③11:40～ ④12:30～ ⑤13:20～ ⑥14:10～ ⑦15:00～
⑧15:50～(土日のみ)

- 定員：各回定員30名
- 参加費：無料
- 場所：国営ひたち海浜公園 ひたちなか自然の森「特別保護区」
- 受付：「ひたちなか自然の森」入口(当日申込み)
- 協力：茨城生物の会、国営ひたち海浜公園 里山パートナー



■ガイドツアールート



オオウメガサソウを育む貴重な環境「ひたちなか自然の森」

ひたちなか自然の森は、ひたち海浜公園の特徴ともいえるべき自然が残されています。この自然の森は、アカマツ林を主体とした森で、かつては、人々が山に入り、柴（枝）や落ち葉をとって燃料とした「里山」として、人と自然のかかわりの中で保たれていた森です。その林床には、一面を覆うコケ類やオオウメガサソウが自生し、観察池には水辺に生息するさまざまな生き物たちが暮らしています。

高木層のアカマツ、低木層のヤマウルシ、ナツハゼ、および、林床のハイゴケやハナゴケで構成された森は、適度に湿度が保たれ、人の手入れが維持されてきたことで、オオウメガサソウの生育に適した環境が保たれてきました。しかし、現在では、こうした人々の暮らしと森が切り離され、オオウメガサソウの生育が危ぶまれています。



「里山パートナー」 昨年の「オオウメガサソウ保全シンポジウム」を受けて、オオウメガサソウ等の貴重・有用植物の生育する里山環境の保全を目的とする「里山パートナー」が10月に発足しました。平成18年度以来途絶えていたオオウメガサソウの追跡調査を行うとともに、里山管理を行うための技術を学んでいます。



オオウメガサソウの生育状況と生育環境調査



樹林管理講習

＜“オオウメガサソウ”保全シンポジウム＞

公 園内の希少な植物である「オオウメガサソウ」の生育環境を保全するため、里山パートナーによる調査結果の発表や今後の保全の取り組みについての話し合いを行うシンポジウムを開催します。長年、ひたち海浜公園の自然環境保全に携わってくださっている鳥取大学の日置佳之先生に、里山環境の保全の重要性、ひたち海浜公園のあるべき自然環境の姿について基調講演をしていただきます。茨城生物の会、茨城県自然博物館の参加を得て保全活動の発展の基礎となるシンポジウムとします。ぜひご参加ください。

- 開催日：7月23日（土）
- 時 間：10時～12時
- 場 所：国営ひたち海浜公園事務所多目的ホール
- 定 員：50名（事前申込）
- 参加費：無料



昨年の開催の様子→